

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 12 月 4 日(2023.12.4)

【公開番号】特開 2023-35156(P2023-35156A)
【公開日】令和 5 年 3 月 13 日(2023.3.13)
【年通号数】公開公報(特許)2023-047
【出願番号】特願 2021-141784(P2021-141784)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 1 1 A

A 6 3 F 5/04 6 9 9

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 11 月 24 日(2023.11.24)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

計数スイッチを有し、

遊技価値数を表示可能な所定の表示部を有し、

所定の表示部に表示する遊技価値数を記憶可能な第 1 記憶手段を有し、

遊技の結果によって更新可能な遊技価値数が記憶可能な第 2 記憶手段を有し、

貸出ユニットに出力するための遊技価値数が記憶可能な第 3 記憶手段を有し、

通常区間を有し、

30

有利区間を有し、

電源が投入されると、第 2 記憶手段に「0」を記憶可能であり、

電源が投入されると、第 3 記憶手段に「0」を記憶可能であり、

遊技の結果によって更新された第 2 記憶手段に記憶されている遊技価値数が第 3 記憶手段に記憶されている遊技価値数よりも大きくなった場合は、第 2 記憶手段に記憶されている遊技価値数を第 3 記憶手段に記憶可能であり、

第 3 記憶手段に記憶された遊技価値数を貸出ユニットに出力可能であり、

通常区間では第 2 記憶手段に記憶可能な遊技価値数は更新可能であり、

有利区間では第 2 記憶手段に記憶可能な遊技価値数は更新可能である

遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

本発明は、

計数スイッチを有し、

遊技価値数を表示可能な所定の表示部を有し、

所定の表示部に表示する遊技価値数を記憶可能な第 1 記憶手段を有し、

50

遊技の結果によって更新可能な遊技価値数が記憶可能な第2記憶手段を有し、
貸出ユニットに出力するための遊技価値数が記憶可能な第3記憶手段を有し、
通常区間を有し、
有利区間を有し、
電源が投入されると、第2記憶手段に「0」を記憶可能であり、
電源が投入されると、第3記憶手段に「0」を記憶可能であり、
遊技の結果によって更新された第2記憶手段に記憶されている遊技価値数が第3記憶手
段に記憶されている遊技価値数よりも大きくなった場合は、第2記憶手段に記憶されてい
る遊技価値数を第3記憶手段に記憶可能であり、
第3記憶手段に記憶された遊技価値数を貸出ユニットに出力可能であり、
通常区間では第2記憶手段に記憶可能な遊技価値数は更新可能であり、
有利区間では第2記憶手段に記憶可能な遊技価値数は更新可能である態様である。
また、本発明は、
ホールコン・不正監視情報送信後に応答許可フラグ記憶領域に所定値を記憶し、
遊技機情報管理処理の開始時に応答許可フラグ記憶領域に特定値を記憶し
貸出通知を送信時の異常判断処理により、貸出通番が正常であるか否かを判断する処理
の後に応答許可フラグ記憶領域に記憶されている値が特定値であるか否かを判断し、応答
許可フラグ記憶領域に記憶されている値が特定値である場合は、エラーに関する処理が実
行可能である態様であってもよい。

10

20

30

40

50